

大津市民病院 地域医療連携室 だより ●第29号●



診療情報管理室の紹介

次長 佐々木 嘉彦



当院では、診療、研究にカルテがいかに大事であるかを認識し、昭和62年に「病歴室」が設置され、一定の成果を挙げてきました。しかし近年、診療情報の開示や個人情報保護法施行など、医療環境や社会環境の変化により、医療者だけでなく、誰にでも解釈可能な診療記録が求められるようになりました。そこで平成16年、「病歴室」から「診療情報管理室」と名称変更がおこなわれ、院長直属の部署として再出発しました。スタッフは12名(職員2名、嘱託職員1名、臨時的任用雇用職員9名)で運営しております。

主な業務の1つは退院カルテの整理。カルテが診療情報管理室に届いてから厳しいチェックを行い退院時には署名忘れなど不十分なカルテであっても一定の基準をクリアできるまでに整えるよう働きかけています。お預かりしているカルテは10年分10万冊以上にも及び、求めがあればいつでも見ているだけのようになっています。もう1つは公共機関(警察・検察庁・裁判所・弁護士会等)から患者さんの疾病名・病状・通院歴・状態など問い合わせに対応することです。個人情報保護の観点から情報の提供には慎重、かつ正確な対応が求められます。また、個人情報保護法が施行されてからは、個人の診療記録の開示請求にも対応させていただいています。ますます需要が増加すると思われるので、個人情報の取り扱いに留意し、診療、研究等に役立つ情報が提供できるよう職員一同取り組んで参ります。

～お知らせ～

- ☆「健診センター」リニューアルオープン
11月1日(火)より別館棟4階でお受けします。
- ☆「相談・支援センター」がん・難病相談を中心に
おこなっています。執務時間内であれば
地域医療連携室迄 お一人 30～60分無料



大津市訪問看護ステーションの紹介

所長 古田 恵美子

「あなたらしい在宅療養を支援いたします。」大津市訪問看護ステーションは、大津市民病院内に併設し、病院で行われている医療的な管理を必要とする人が、在宅においても医療を継続し、安心した生活が送れるように支援を行っています。

地域医療機関や、ケアマネージャー、居宅サービス支援事業所との連携を図り、24時間緊急連絡体制による時間外や休日、緊急時の訪問を行い、家族支援と共に、住み慣れた地域のなかで、最期まで過ごせるよう在宅での看取りや療養を支援しています。

～NST勉強会のご案内～

- 17時半～19時
9階会議室 ※筆記用具・電卓をご持参下さい
- 11月10日(木)「慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の栄養療法」 呼吸器科:平沼 修ひらぬま おさむ
- 11月24日(木)「嚥下リハビリテーション」
リハビリテーション部:大原、西川、松田他
「嚥下訓練食・濃厚流動食」
栄養部:山崎

～緩和ケア勉強会のご案内～

- 18時～19時半 9階会議室
- 11月17日(木)「症状コントロールとケア②」
倦怠感、食欲不振、精神症状(不安、抑うつ、せん妄)